

＜新木場＞「木材・合板博物館」を訪ねて

月報委員
日向 進

毎月、月報委員会で会議を行うのですが、一度行ってみたいとの声が多数あり、3月3日に月報委員会の庄司副理事長、豊田常務理事、本西委員長、深谷理事と日向の5名で新木場タワー3F、4Fにある「木材・合板博物館」へ取材に行きまして参りました。当日は、平川副館長、赤石さん、長谷川さんをはじめ、皆さん温かくお出迎えいただき、1時間弱、たっぷりのご案内頂きました。近くにあるのにまだ行った事がないという方も多くいらっしゃるかと思いますので、たくさん写真をとって参りましたので、ご紹介させていただきます。



ひととき目立つ新木場タワー



木材会館から歩いてすぐです

15年目を迎えた「木材・合板博物館」、区内の小学校を中心に20数校が毎年見学地として訪れるなど、数万人が訪れています。現在はコロナ禍ということで、一般見学などは制限をしながら行っています。それではまず、4Fからご紹介します。



エレベーター降りてすぐ木材のオブジェ



イメージキャラクター「ごーくん」もお迎え



広々とした空間のシアタールーム



4Fフロアには木のショップも充実



学びコーナーには木の樹種サンプルも充実



貴重な木材の本がズラリ



工作スペースで木工教室を開催



木育コーナーは木や合板のおもちゃがたくさん

4Fフロアには、「シアタールーム」「ミュージアムショップ」「学びコーナー」「ものづくりコーナー」「木育コーナー」の各コーナーが工夫をこらし、見て触って学べるスペースが充実しています。また定期的
に開催している「木工教室」や「講習会」も、今ではだんだん浸透してきて、開催するとすぐに定員が一杯
になるとの事。

つづいてメインの3Fフロアのご紹介です。



エレベーターホールには屋久杉の展示



3F 展示場の入口



入口すぐのところ副館長より説明



木のいろいろ学べます



見て触って学べます

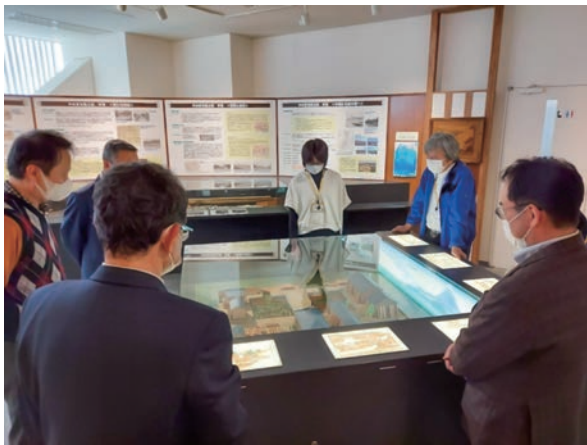


合板について説明パネル

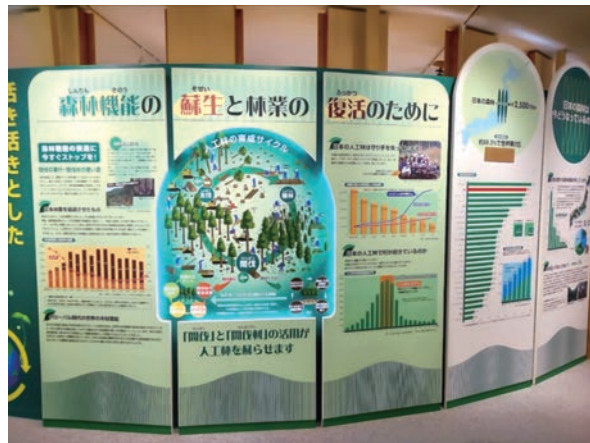
3Fは、わかりやすい展示コースになっており、様々工夫を凝らし、見て触って楽しみながら学べます。またQRコード読み込めば、音声ガイドの解説も聞けるようになっており、木材や合板、新木場の歴史についてなど知る事ができます。



ロータリーベニヤレースを実演していただきました。最後わずかな芯しか残りません。



映像や模型、そして展示を通して木のまちの今と昔を知ることが



木材利用と地球環境、木材をたくさん使うことの重要性を学びます

皆さんぜひとも一度、見学に行ってみてください。

「木材・合板博物館」 入館料：無料 利用時間：10：00～17：00
 休館日：月曜・火曜・祝日・夏季休暇・年末年始
 東京都江東区新木場1-7-22新木場タワー3F4F TEL：03-3521-6600
 ※オンライン見学もできます。 <https://www.woodmuseum.jp/wp/>